

有限会社 北日商会

(1) 事業所の概要

○所在地：福井県福井市宝永2丁目8-1	○創業：昭和24年5月3日
○代表者職・氏名：代表取締役 大田雄一郎	○業種：卸売・小売業
○従業員数：7名	○事業内容：工業用ゴム製品、合成樹脂製品の加工、販売及び伝導用品、保温材料など産業用資材の販売

(2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの目標】

従業員全員が心身ともに健康であることは会社の財産と捉えている。従業員1人1人が安心して最大限のパフォーマンスを常に発揮できるように努力することを目標に健康づくりに取り組んでいる。

【取組みの内容】

①定期健康診断受診率

当初は同日に全員が受診する健診形式を取っていたが、急な予定等があった際にも受診しやすいように、個々の希望に沿って健診日程を確認し、健康づくり担当者が予約している。

②精密検査が必要な従業員への受診奨励

健康づくり担当者が健康診断の結果で精密検査が必要な従業員に対し面談を行い、かかりつけ医の無い場合は、本人と相談し医療機関を検索。事前予約可能な医療機関は本人同意のもと健康づくり担当者が予約まで取る形式とし、所属責任者に休暇取得についても連携を取っている。

③運動機会の増進

ウェアやシューズの無料レンタルやフリードリンクのプランを選択。会社からも近いスポーツジムと契約し、従業員が会社帰りや休日に気軽に運動する機会を持てるようにしている。また、インストラクターの訪問制度を活用し、適切な動作や必要な筋力UPの方法などの指導を実施。

④女性の健康保持・増進

子宮がん・乳がん検診の受診確認をし、希望者には定期健康診断時に受診が出来るよう予約している。また、生理用品を常時設置している。

⑤メンタルヘルスへの取り組み

コミュニケーション促進による相互理解を深める目的として、社内BBQや懇親会などの催しを定期的実施。費用は全額会社負担とし、金銭的負担を気にせずに参加が出来るようにしている。また、家族やOB・OGの参加機会も設け、帰属意識による安心感を感じてもらっている。

常駐の保健師にメンタル相談が可能であることをアプスしている他、社内体制では相談しにくいことを考慮し、外部機関によるメンタル相談が無料で利用できる制度を掲げアプスしている。

社内にコハルム(多目的休憩室)を設置しており、従業員同士での催しや休憩に使用できるようにしている。前日までの予約申請で休日利用も可能。

⑥食生活

少しでも食に意識をもってもらう為、具沢山の味噌汁を取り入れたり、夏季は熱中症対策にミネラル飲料を提供したりしている。

⑦感染症予防対策

全員にマスク、新型コロナウイルス感染症簡易検査キットを提供している。消毒薬、パーテーション、空気清浄機、外来者に対するマスクの設置や、使い捨てのペーパータオル、水栓をペーパー式に変更し職場環境の感染予防対策を実施している。本人及び同居する家族のインフルエンザ予防接種費用の補助制度を設けている。

⑧喫煙率低下の取り組み

喫煙者に対し「禁煙報奨金」といった制度をアプス(県の禁煙助成金事業利用計画)。都度、禁煙外来などの情報を提供している。

【取組みによる成果】

①健康診断の日程を事前調整とすることで、受診しやすい状況となった。また、未受診者についても健康づくり担当者から繰り返し日程調整を実施したことから受診率は100%を達成している。

②以前は健康診断後の精密検査の判断は個々に任せていたが、健康づくり担当者を設置したことで担当者が従業員に精密検査の必要性を伝えるだけでなく、受診しやすい環境を整える役目を果たすようになったことから、精密検査受診率はほぼ100%となっている。

③本年5月からスポーツジムと契約。週1回ジム通う事を継続した結果、膝の痛みがなくなり、通常業務に支障がなくなった事例が聞かれた。

④コロナ禍以降は特に運動する機会が減ったことから、健康増進だけでなくストレスにも役立っている。

⑤急に生理が始まった場合でも、生理用品を常設することで、安心感を感じてもらっている。

⑥コミュニケーションの促進効果で社内での会話が活発化し、お互いの人間性の理解が進んだ。

現在、利用は見られないが、社内外でのメンタル相談を引き続き継続していく。

⑦コハルムの設置により、気軽に休憩や気分転換が取れる環境になった。

⑧味噌汁の提供を行ったことにより、昼食を抜いていた従業員も、味噌汁だけでも摂取するように行動が変容している。食材に野菜や海藻なども含まれており、従業員の栄養バランス確保の一助になっている。

⑨医療機関のような精度は無いものの、いつでも簡易検査ができる環境にあることから、従業員が感染した際にもすぐにキットで検査を実施し、陽性判定後の対応もスムーズに行うことが出来た。これにより、社内感染を防ぐことができ、パンデミック発生から現在まで新型コロナウイルスによる社内感染はゼロとなっている。

⑩従来より行っていた受動喫煙の防止としての分煙だけでなく、口頭指導やポスターの掲示などの啓発により喫煙者は減少した。

(3) 今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】

従業員1人1人の毎日が「心身ともに健康」であることで最大限のパフォーマンスを発揮でき、私たちに関わる全ての方にも好循環が起きると考えている。今だけでなく未来も変わらず健康であることは会社にも従業員にもメリットが大きい。そのため、引き続き健康づくりに役立つ仕組みや制度を考えながら実行していく。

【重点的に取り組む内容】

- ・作業中の怪我予防のためにルール化だけでなく、定期的な運動する機会を促進していく。
- ・偏食や暴飲暴食による体の不調を防止するために、食事に関する指導も取り入れていく。